friendship force
AICHI

No.88

Newsletter

東日本大震災・福島原発の被災者の皆様に心よりお見舞い申し上げます

この度の大震災 *冨岡達也*

亡くなった方約1万5千人、不明者約1万人、そして10数万人以上の被災者が2ケ月を経た今、なお先の読めない避難所生活、一刻も早い復興をと切に願っています。当クラブも、皆さんの協力で4月1日に日本赤十字社を通じ、約23万円の義援金を被災地へ送金しました。

地震・津波に加え、今度は原発事故が加わり、史上最悪の災害になってしまいました。

政府、東電の情報発信、対応には、言葉が無いほどの怒りを覚えますが、今はまず皆が一丸となって復興に協力すべき時でしょう。原発は、停止後でも冷却水が完全にとまれば燃料損傷が起るというとんでもない問題が表面化しました。今、原子炉冷却に必死の努力がなされていますが、大きな地震がきたらどうなるのだろう？今後は、大量の汚染水処理や、海水汚染、雨季後の汚染土壌処理の問題が深刻になることでしょう。

浜岡原発の停止がきまりました。津波対策が不十分と指摘された以上、まずは仕方のない決定と思います。経済や生活に多大な影響は出るでしょうが、被災地の惨状を見れば、私達も生活の不便さは受入れざるを得ないでしょう。

今回の震災は、当クラブの活動にも影響を与えました。当時、Bristolからの受入れ迄一ケ月を切っており、計画続行か延期もしくは中止かを早急に決定する必要がありました。役員会前日までに埼玉クラブ延期決定、EDから、先方はなお訪問を強く希望している、奈良クラブからは埼玉の代替を引受けても良いとの有難い提案等があるとの報告がありました。これらを踏まえた上で、今回の状況からみて中止やむなしとの役員会決定になりました。ホストの協力を申出ておられた方々には誠に申訳ありませんでした。

生憎、会長の都合で私が代行を務めておりました。皆さまのご了解をお願い致します。その後、国内クラブ全ての今年前半の受入れがキャンセルされたのはご承知の通りです。

このような時の後処理は、面倒です。EDの橋本さんの努力で、2013年度の交換を双方からFFIへ要望することになったことをご報告します。

さて今、夏以降のOutbound計画が控えております。日本は、安全であり、力強く復興に向けて努力しているとのメッセージを伝えなければなりません。そのためにも皆さんが積極的に数多く渡航計画に参加されるよう強く願っております。—5月10日

≪震災・原発事故　に見舞われた福島県の状況を郡山クラブ　佐々木和彦氏にお聞きしました≫

今、福島県の災害は“現在進行形”です。津波と原発事故の避難者を合わせると、20万人近くになりそうです。県人口は、約200万人ですから、10人に1人が“難民化”しています。この人たちは、少なくとも今年いっぱい、或いは来春までに、自分の家に帰られるか？　も、疑問視されています。あまりにも大きい“原発安全神話”の代償です……！FF郡山会員にも、小・中学校の教師をしている人が何人か居りますが、毎日の“放射線量測定発表値”を注意深く見ながら、“平静を保って”子供達を守っているようです。—5月18日

2011年前半FFJの受入・FF愛知ブリストル受入のキャンセル

ブリストル受け入れ準備と受け入れ延期にいたるまで *ED 橋本忠幸*

昨年EDのBobさんと会う機会があり、お互い安心してメールのやり取りが出来るようになった。昨年秋にはBristolだけでなく、Englandの他のClubにNorwayからも加わって総勢25人のAmbassadorが決まった。
いよいよ受け入れ側の計画。
「Hostは誰にどのようにお願いするのかなあ、25人も大丈夫かなあ」と心配するだけで私には何も出来ない。しかし、西村さん、鷹野さんの大変な協力で16人のHostが決まり、Day Host, Driverも決まった。恒例のスケジュールとその担当も決まった。沢山の会員の協力で始めて、受入れは出来るのだと改めて実感。そのうえ、準備が進むにつれ、各担当者の細かな心配りを知り、素晴らしい人が沢山いるのだと感心。PartyのAttractionには会員の大矢さんがPianoを演奏してくれることが決まり、会場探しにも足を運んでくれた。これでは、いい加減な所では妥協出来ないとますます力が入る。栄のTower Restaurantに役員4人で行き、試食もして決めた。 食物Allergyの人、Mail Addressの無い人など、その都度Bobさんにメールして、助けを求めた。
Bobさんからは「名古屋から東京への新幹線の乗車券を買ってくれ」と頼まれ、団体乗車券を提案。富士山を見易い進行方向左側の席が取れないか、頼みに行き、確保できた。
沢山の人の協力で、いよいよ交換が出来るのだと楽しみになってきた。
そんな折、地震が起こった。しかも原子力発電所の事故まで。2年後の春まで延期となった。
それまで、素晴らしい交換を期待し、メールで友情を深めておこう。皆さん、よろしくお願いします。

幻のBristol 交流 *ホスト 武藤美代子*

4月に予定していたブリストル（イギリス）の受け入れが3月11日の東北関東大震災による被災を鑑み、延期となりました。予定通りワークショップがあり、そこで橋本EDから延期に至る経緯が詳細に説明されました。すでに役員会で延期決定がなされていたとは言え、一人ひとりの意見を聞く場を設けて下さいました。約一ヶ月間ブリストルの友人たちと交流を深めてきたホストの気持ちを大切にして下さっていることがよく分かり、感銘を受けました。さらに、ワークショップが延期か否かの議論の場となっていたら、どんなに理想的だったでしょう。
溢れるボランティア精神と自分の時間を使って人々をつなげ、その輪を広げようとする素敵な場のFF愛知クラブ。グローバルな心をもっている皆のアイディアが反映され、多くの会員が関われるオープンで楽しい国際交流ボランティア団体、FF愛知クラブの発展を願っています。

FF Japan 2011 3/23-6/11 受け入れ計画　　5月12日現在の状況

クラブ	日程	ホスティング　クラブ	人数
~~Gold Coast, Australia~~ 大震災のため *cancelled*	3/23-	熊本・奈良	22
~~Bristol, UK~~ 大震災のため *cancelled*	4/9-23	愛知・埼玉	25
~~Vogtland, Germany~~ 大震災のため *cancelled*	4/	大阪	20
~~Freiburg and Berlin, Germany~~ 大震災のため *cancelled*	4/17-	岐阜・愛媛	22
~~Taipei, Taiwang~~ 大震災のため *cancelled*	4/	京都福知山	21
~~Varel, Germany~~ 大震災のため *cancelled*	4/16-	東京・福岡	19
~~Zeeland, Netherlands~~ 大震災のため *cancelled*	5/12	太田群馬・大分	9
~~Kapiti Coast, New Zealand~~ 大震災のため *cancelled*	5/26-	埼玉・札幌	20
~~Southern Oregon, USA~~ 大震災のため *cancelled*	6/1-11-	奈良・山形	8

＊ FF愛知の秋の受入・メキシコ交換も残念ながらキャンセルになりました

70歳からの国際交流ーフレンドシップ・フォース・愛知と共に12年間（No. 2）

[12年間のフレンドシップ・フォースの活動で最も印象に残ったことは]

何と言っても、私のFFの活動のハイライトはアジア・パシフィック・フェスティバル（APF）の実行委員長を務めたことです。

2007年4月4日から8日まで「城とさくら」をテーマにAPFが名古屋で開かれました。開会式には神田愛知県知事にも出席を頂き、マッケンジーFFI理事長の参加を得て、天候にも恵まれ、さくらの花も丁度満開になり申し分のない最高の条件で大会を開くことが出来ました。海外から100名を超える参加者があり最後のフェアウエル・パーティーには200名近い出席者で盛り上がりを見せ、みなさんの協力で、成功裡に終えることが出来ました。約1年半にわたる会員の準備の努力が報われ、FF愛知の存在を広く知って頂くことが出来たと思います。翌2008年の世界大会で愛知クラブがOutstanding Club Awardを受賞する一因にもなりました。

2006年ドイツ訪問

間もなく私は83歳を迎えます。FF愛知は1997年から2010年の間に24回の受入（計529名）、16回の渡航（計338名）を実施しました。

その間2001年のロサンゼルスと2008年のベルジアン・コーストの受入、2005年のホノルルの渡航のEDを務めたこと、数回の渡航、受入のデイホスト、数多くの司会、通訳、翻訳、英会話の講師、ニューズレターへの『英語のヒント』の寄稿、Japan Q&Aの講読など、人生の終盤にたくさんの貴重な、新しい経験、楽しい経験をさせて頂きました。多くの方々から頂いた温かい励まし、支え、助けに心から感謝を申し上げます。

2006年コスタリカ受入

	Inbound	Outbound
2004	リンカン USA (26名)	ノースモートン&イプスウイッチ Australia (19名)
2005	ハノーバー Germany (30名) マンチェスター UK (18名)	ホノルル USA (17名) カルガリー Canada (14名)
2006	ノースモートン Australia (16名) アラフェラ Costa Rica (24名)	ハノーバー Germany ベルジアンコースト Belgium (18名)
2007	カルガリー Canada (21名)	ハリスバーグ & ノースカロライナ USA (21名)
2008	ベルジアンコースト Belgium (18名) ツインシティーズ ミネソタ USA (23名)	アラフェラ Costa Rica サン アントニオ テキサス USA (21名)
2009	Mid-Willamette Valley USA (11名) ハリスバーグ & ノースカロライナ USA (20名)	ワイカト & マナワツ New Zealand (11名)
2010	カイロ Egypt (20名) ソロトルン Switzerland (13名)	バーリントン・ハミルトン Canada (16名) ノルド Netherland (14名)

イギリスとドイツでの楽しい交換に出かけよう

ED:土居陽子 ddyokodd0607@ac.auone-net.jp Tel.Fax 052-876-0200

◆期　　日：9月26日～10月11日

◆交換費用：1. 交換フィー$455

2. 航空運賃　230,000円(空港税・燃料サーチャージを含む)

3. オプショナルツアー　別途

◆申込方法：メール、ファックスでEDまで・締切6月30日

イギリスのマンチェスタークラブ、ドイツのノーデルシュタッドクラブからは温かい歓迎のメールが届いています。両クラブの人々との交流に加えて魅力あるその土地の観光を楽しみましょう。

ドイツ　リューベック Lübeck：ハンザ都市　ユネスコ遺産に登録されている。水に囲まれた旧市街は千年の歴史がある。

イギリス Manchester：湖水地方

ピーター　ラビットの世界

ジェーン　エアーの嵐が丘

≪東日本大震災義援金の報告≫　　事務局　西村貴美子

この度の東日本大震災において、FF愛知では皆様から送られました募金と会からの基金を加え総額23万円を4月1日に日本赤十字より被災地へ義援金として送らせていただきました。皆様には様々なところで募金されていらっしゃることと存じますがこの度の愛知クラブの募金活動にご協力くださいましたこと深く御礼申し上げます。

なお、日本赤十字社からはFF愛知からの義援金にたいし丁重なお礼状が届けられました。

≪被災されたママと子供たちにホームステイを提供しましょう（ˆ◇ˆ）≫

加藤万由子さんは加藤紀子会長の長女で震災直後から被災地の母子のサポートをされています。皆さんにこの活動を紹介いたします。FF愛知でもこの活動が広がっていくと良いですね。

[　mama to mama　ママとママをつなぐサイト　　加藤万由子（朝田万由子）]

これは、被災されたママと子供、放射能の不安に悩むママと子供たちを受け入れてくれる家庭をつなぐ活動です。基本的に1週間、あるいはそれ以上、ホームステイを提供しようとご協力くださる方はmama to mama (http://www.mamatomama.info/)をご覧いただき、mama to mamaまでメール、または、電話でご連絡ください。

✉mamatomamaformama@gmail.com　☎ 070-6637-9891(PHS)

編集・発行　FF愛知　会　長：加藤紀子

事務局：西村貴美子　kk-nishi@ma.medis.ne.jp

〒478-0001 愛知県知多市八幡字笹廻間12-199　Tel. & Fax 0562-34-0890

ニューズレター編集・製作：　鷹野晴子　htkn@ma.medias.ne.jp

ホームページ編集・製作:　谷川智恵子　y615m210@yahoo.co.jp

ホームページ：http://ffaichi.web.fc2.com/